

▼
関東

関東・クラブ活動の現状

同好会委員会委員長

河野 京一(MBS)

新型コロナウイルス感染が流行し3年、一向に収まらない感染拡大、ついに第7波に突入した。

コロナ禍の中で、関東の同好会活動も趣味の月例会である「囲碁の会」「写真の会」「カラオケ同好会」などの中止が相次ぎ、グループで戸外に出て楽しむ路上観察クラブやゴルフ同好会の成立も約半分となっている。今年、戸外で催行できたクラブ活動は

*1月5日(水)路上観察

〈七福神巡り・小石川七福神〉



1月:路上観察・七福神巡り

*3月28日(月)ゴルフ同好会

〈多摩カントリークラブ〉

*5月18日(水)路上観察

〈バラの咲く旧古河庭園〉

*6月8日(水)ゴルフ同好会

〈若洲ゴルフリンクス〉

*6月29日(水)旅行会

〈高尾山薬王院で精進料理〉



6月:ゴルフ同好会・若洲ゴルフリンクス



5月:路上観察・旧古河庭園

一方、予定していたが残念ながら中止とした戸外のクラブ活動は

・2月 講演会(リー啓子先生)

・3月 路上観察クラブ

・7月 路上観察クラブ

・9月 路上観察クラブ

一日でも早く新型コロナウイルスが終息することを祈るのみである。

静岡・歴史ウオーク

松野 輝洋(SBS)

東海道をメインに静岡県内各地を巡る「歴史ウオーク」は、既に7回実施しました。お陰さまで参加者からは良い反応をいただきホッとしています。

しかし、一向に収束しないコロナ禍への対応、加えて猛暑下での行動を考えますと、次回はいっ頃にすべきか正直迷っているところです。

ご存じのとおり、静岡県内の東海道には二十二宿があり、そ

れぞれに長い歴史と興味尽きない物語が残されています。とは申しながら「袴を付けて学ぶ」堅苦しさを避け、楽しい遊覧で「少しでも勉強になった」と受け止めていただけるようにと心掛けています。

さらに、参加者には食通、美食家が少なからずおられますので、この点でも気は抜けません。訪ねた町の評判の味を確かめたいというリクエストには、可能な限りお応えするように努めます。

参考になるのが、東海道を旅した先人たちの筆になる様々な「旅行記」です。特に江戸期には公用の旅だけでなく、庶民の旅が盛んになったことで、今でもそれらの多くを確かめることができます。

『東海道名所記』をはじめ、江戸時代の旅のガイドブックには諸々の旨いものが紹介されており、「舌でも味わう東海道」が「歴史ウオーク」の楽しみのひとつかも・・・。